

No.208
2023.3.20

郷土

荘原コミュニティセンター報

荘原のうごき

令和5年1月31日現在

世帯数……2,675戸

男性……3,624人

女性……3,839人

合計……7,463人

発行／荘原コミュニティセンター

出雲市栗川町庄原3835 (電話)72-4600 (FAX)72-4602

つながる荘原 笑顔の未来
いかそう 人を 歴史を 資源を

2/12
(日)

浅津知子さん講演会

自主企画事業

こども倶楽部

「すこやかな食卓には地球を変える力がある」



日本マクロビオティック正食協会講師であり、消費者庁食品ロス削減サポーターの浅津知子さんをお招きし、講演会を開催しました。

「こども倶楽部」では、毎年、荘原のこどもたちと共に、有機栽培でさつまいもと大豆を育てています。苗植え・種蒔きに始まり、それぞれの作物の世話をし、秋にはともに収穫します。そこで収穫したさつまいもは文化祭で焼きいもとして販売し、大豆は冬に味噌として仕込みます。こうした食育に携わっている経験から、より安心で安全な「食」に関する知識を深め、また、それを地域の皆さんと共有したいと考え、この講演会を企画しました。

健康的な食生活を送りたいとわかってはいても、そのための正しい知識を得るのは難しいことに感じる方は少なくないと思いますが、浅津先生のお話は、わかりやすく優しい言葉で語られ、「できることから始めてみよう」と考えさせられるような内容でした。SDGsの話に始まり、地球温暖化への警鐘を鳴らしつつも、各家庭でできるごみを減らす工夫や、安全な食材を求めるポイントを教えてくださいました。

講演終盤では、栄養を損なわない青菜のゆで方や、キャベツの栄養の吸収を高める火の通し方などについてもお話しいただき、参加者の方からは、「目から鱗」「浅津先生の調理講習をぜひ受けてみたい」などの声がありました。

自主企画事業

2/22(水)
東部保育園

2/28(火)
荘原保育園

保育園のこどもたちとの味噌作り

昨年5月に種を蒔き、11月に刈り取った「こども倶楽部」の畑の大豆。刈り入れ後、乾燥させ、さやから外す作業を園児たちもお手伝いしてくれました。今年は特に大豆の出来が良く、丸々太ったいい大豆です。

そして迎えた味噌作りの日。先生の説明を聞きながらも、はやる気持ちを抑えられない様子の園児たち。この日を楽しみにしていたのが伝わってきます。その後の、麴と塩を混ぜる作業や、ゆでた大豆をみそくり機で潰す作業(ここが一番人気!)、みそ玉を作る作業など…あふれる笑顔から、子どもたちが味噌作りを楽しんでいる様子が伝わってきました。

この日仕込んだ味噌は、1つ上のお兄さん・お姉さんクラスになってから、給食で提供されます。きっと美味しい味噌が出来ますね。



荘原保育園

2/25
(土)

子どもクッキング教室

放課後子ども教室

募集定員を超える20名の参加希望があったため、会場をJA斐川あぐりキッチン「ふあみ〜ゆ」に変更して実施しました。今回はひな祭りをテーマにしたメニューです。「洋風ちらし寿司」「白菜のミルクスープ」「三色白玉フルーツ」づくりを5人ずつ4つのグループに分かれて挑戦です。各グループとも上学年の子どもが指示を出したり、てきばきと動いたりしながら楽しく調理していました。目でも舌でも味わえる春らしい色合いの料理が完成しました。多めに作ったスープをお腹いっぱい食べた子どもは「おかわり9杯目!」と言いながらおどけてみせます。子どもたちの笑顔あふれる楽しいクッキング教室でした。



白玉だんご
こねこね

＜子どもたちの感想＞

- ・三色白玉は、水分の調節が難しかったけど上手にできた。家でも作ってみたい。
- ・チーズは好きじゃないけど、「洋風ちらし寿司」に入れたらおいしく食べられた。
- ・野菜を切るのが難しかったの。家でも練習したい。



2/1
(水)

～外国人に優しい社会を～ 「やまももの会」役員研修を 実施しました!

総務部



外国人との共生社会の実現のために現状を知り、何をすべきかを学ぶことを目的として「ひかわdeにほんご教室」で活動しておられる三島加代子さんにお話をいただきました。現在、出雲市には5,000人近い外国人の方が住んでいます。「ひかわdeにほんご教室」では、ブラジル、中国、ミャンマー、ベトナム、フィリピンなど様々な国籍の人との学習および交流活動を行っているとのことでした。この活動を始めて15年、能力差があるなど、学習内容に悩まれていることがあっても、お互いに学びの場を共有することで生じる喜びを大切にされているようです。

参加者の感想

- ・誰もが気軽に集まって話ができて「熱い場がある」といい。
- ・外国人の人と出会ったら、自分の方から挨拶することを継続し、住みよいと思ってもらえるように人とのつながりを大切にしたい。

3/4
(土)

地域の災害には 私たちが立ち上がります! ～防災教室～

環境福祉部

庄原コミュニティセンター
女性クラブ
やまももの会

昨年に引き続き、日本赤十字社鳥根県支部の清水剣士さんにきていただき、避難後に気をつけたいこと(エコノミー症候群、脱水症状、熱中症や低体温症、停電時の食事、認知症の方への対応、見守り・支援など)について学びました。

今年度は、非常食作りに加えて簡易トイレ、ダンボールベッド、パーティションの組み立てをしました。ほとんどの会員が初めての体験でしたが、悪戦苦闘の末に無事に組み立てることができました。

また、古布やタオルなどを持ち寄り、荘原地区内の福祉施設に寄贈しました。合わせて、当日「トルコ・シリア大地震」の募金を実施し、日本赤十字社を通して現地に届けていただくことになりました。



1/21
(土)

接ぎ木講習

1月21日に、福島博さんを講師に、薔薇の「接ぎ木講習」を開催しました。昨年10月20日に採取したノイバラをスタンダード台木とし、穂接ぎを行いました。台木に切り込みを入れ、そこにカットした穂木(芽)を差し込むのですが、切り方、差し込み方にそれぞれコツがあります。講師の福島さんには、プロジェクターでの座学に始まり、実技まで大変丁寧に教えていただきました。この接ぎ木が定着すると、荘原コミセンの薔薇もまた少し違った表情になります。自分だけのオリジナルのスタンダード仕立ての薔薇を作りたいという方はぜひ「Showバラの会」の講座に参加してみてくださいね。



※スタンダード…芽を伸ばして、上部に葉を茂らせる仕立て方

数年前に咲いた不思議な薔薇。接ぎ木をしたからその面白味ですね。

3/4
(土)

バラの冬剪定

春めいた日差しの中で、福島博さんの指導のもと、総勢20名で、荘原コミセンの薔薇の冬剪定講座を行いました。薔薇の花をきれいに咲かせるためには、剪定は必要不可欠な作業です。剪定によって栄養を必要とする箇所に行き渡らせ、また、風通しを良くすることで、病虫害を防ぎます。

今年も斐川地区で「オープンガーデン」が5月13日(土)~14日(日)、20日(土)~21日(日)の日程で開催され、荘原コミセンもその会場の一つです。オープンガーデン開催時に、ちょうど見頃を迎えられるよう、「Showバラの会」では、毎年この時期に冬剪定と追肥を行っています。併せて今回は、リサイクルステーション南側に新しい薔薇の木を7本植え、害虫によって枯れてしまった木を6本植え替えました。今は短く整えられた薔薇たちが、どんな風に花をつけるのか……皆さんどうぞ荘原コミセンまでお越しになって、そのBefore&Afterをご覧ください。



1班
1/17
(火)

2班
1/19
(木)

3班
1/27
(金)

澄んだ音色に包まれて♪～ 「おいでませの会」新年会

ふれあいサロン
おいでませの会



おいしく
な～れ!

昨年、一昨年は新型コロナウイルスの感染防止のために新年会は中止にしましたが、形を変えてでも新年会をしてはどうかとの声が上がリ、合同の新年会はやめて内容は同じにして班ごとにコミセンでの新年会を開催しました。

まずは抹茶を点てて、いただきました。会員さんの中には、抹茶を点ててくださるかたもいらっしゃいました。

次に「一月一日」の歌をみんなで歌い、「おいでませの会」の嘉藤壽会長、荘原コミセンの原司司センター長から新年の挨拶をしていただきました。

続いて荘原コミセンの大正琴教室のみなさんに大正琴の演奏を披露していただき、大正琴の透明感のある澄んだ音色が、新春の荘原コミセンに響き渡りました。また、教室代表の土江誠さんのトークは演奏する曲目「富士山」「黒田節」「ああ人生に涙あり」「瀬戸の花嫁」などを参加者にクイズ形式で問われ、参加者とのやりとりがとても楽しくて、笑いに包まれた時間となりました。

また、大正琴教室のみなさんからも「自分たちもコロナで発表の場がなく、久しぶりの人前での演奏で緊張もするけれど、わくわくしました」と言っていた嬉しく思いました。

コロナ禍での新年会でしたが、いつもの「おいでませの会」とは少し違う「お正月気分」を味わっていただけたのではないかと思います。



1班
2/14
(火)

2班
2/16
(木)

3班
2/17
(金)

昔取った杵柄! 昔遊びを子どもたちに伝授 ～荘原小1年生児童さんと「昔遊び交流」～

2月の「おいでませの会」は、荘原小1年生児童さんと昔遊びで交流をしました。

こま回し、けん玉、めんこ、お手玉、あやとりのコーナーに分かれ、同じ空間、同じ時間を楽しく過ごすことができました。

限られた時間でしたが、小学生の児童さんとふれあうことで会員さんもボランティアのみなさんも童心に帰り、笑顔の花が咲いていました。核家族が増えた昨今では、普段は高齢者の方との交流が少ないため、子どもたちにとっても有意義なひとときになったと思います。





写真でたどる荘原

Vol.5

あの日あの時～そして現在

まちづくり部



～荘原小学校は、
今年創立150周年を迎えます～

1873年(明治6年)に神庭小学校が西念寺の本堂を借りて開校しました。その後、三緒小学校、三緒小学校上庄原分校が作られました。

1920年(大正9年)学頭小学校と三緒小学校が一つになり、今の荘原小学校の元ができました。(「わたしたちの荘原町」平成23年改訂版より)



▲終戦前後の荘原小学校の校舎



▲1989年当時の荘原小学校



終戦前後の
荘原小学校の
航空写真▶



▲現在の荘原小学校

荘原コミュニティセンター「まちづくり部」では、引き続き皆様から懐かしい荘原の写真などの歴史資料を募集しています。ご自宅に懐かしい写真などありましたら、荘原コミュニティセンターまでご持参ください。

2/27
(月)

斐川東中学校
有志のみなさん

ありがとうございました!



JR荘原駅の清掃奉仕活動をしていただきました。地域に貢献しようとたくさんの東中の皆さんが参加してくださり、窓や壁・トイレ掃除、く

もの巣取り等丁寧に一生懸命掃除いただき、おかげさまで駅舎はピカピカになりました。皆さんのおかげでとても気持ちよくなり、心もホカホカになりました。東中の皆さん、寒い中ありがとうございました。



2/7
(火)

自衛消防訓練の実施

荘原コミュニティセンター



消防用設備点検業者の方の指導の下、コミセン利用者の皆さんと一緒に消防訓練を行いました。消防訓練の後、消火器を使って放水の仕方を学びました。訓練の内容を反省し、いざという時に役に立てていきたいと思います。



皆様からお寄せいただきましたお志は、荘原地区内の社会福祉事業に活用させていただきます。誠にありがとうございました。ご寄付は、随時、荘原コミュニティセンターまで受け付けております。

須田 美智夫様
(御前山自治会)
和田守 晃三様
(東本町1自治会)

岩谷 剛之様
(栄町自治会)

香典返し 金一封

ご寄付
御礼